



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2022年4月5日

農林中央金庫

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

SDGs 達成に向けた、インパクト投資の開始について

～150 億円(2022 年度)のインパクト投資プログラムを開始し、投資も実行～

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）は、2022 年度に最大 150 億円のインパクト・プライベート・エクイティ・ファンド投資を可能とする投資プログラムを開始いたしました。併せて、同プログラムの一部を活用し Apollo Global Management Inc^(* 1)の関係会社が組成するインパクト・プライベート・エクイティ・ファンド^(* 2) (SFDR 9 条^(* 3)に準拠)への投資実行契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

農林中央金庫は、「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」を存在意義（パーパス）として掲げております。本投資プログラムを通じ、弊庫が長年の国際分散投資戦略のなかで蓄積した知見を活用し経済的なリターンを獲得することと並行して、ポジティブで測定可能な環境・社会課題に対する多様なインパクトを同時に生み出し、そのインパクトを可視化することを企図してまいります。また、インパクト・プライベート・エクイティ・ファンドの運用会社との対話を通じてインパクト創出の知見を高めることにより、環境・社会インパクトの創出を不断に行ってまいります。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(代表取締役社長：牛窪克彦)は、同プログラムの実現にあたって、農林中央金庫が契約締結した上記インパクト・プライベート・エクイティ・ファンドへの投資助言を行っております。これからも常にお客様の目線や立場で考えながら、サステナビリティの分野を含めた的確なソリューションを皆さまへ提供してまいります。

【投資プログラムの概要】

- (1) 投資総額：150 億円
- (2) 投資対象：インパクト創出を目指すプライベート・エクイティ・ファンド
- (3) インパクト創出を目指す領域：SDGs の幅広い項目

【インパクト・プライベート・エクイティ・ファンド投資の概要】

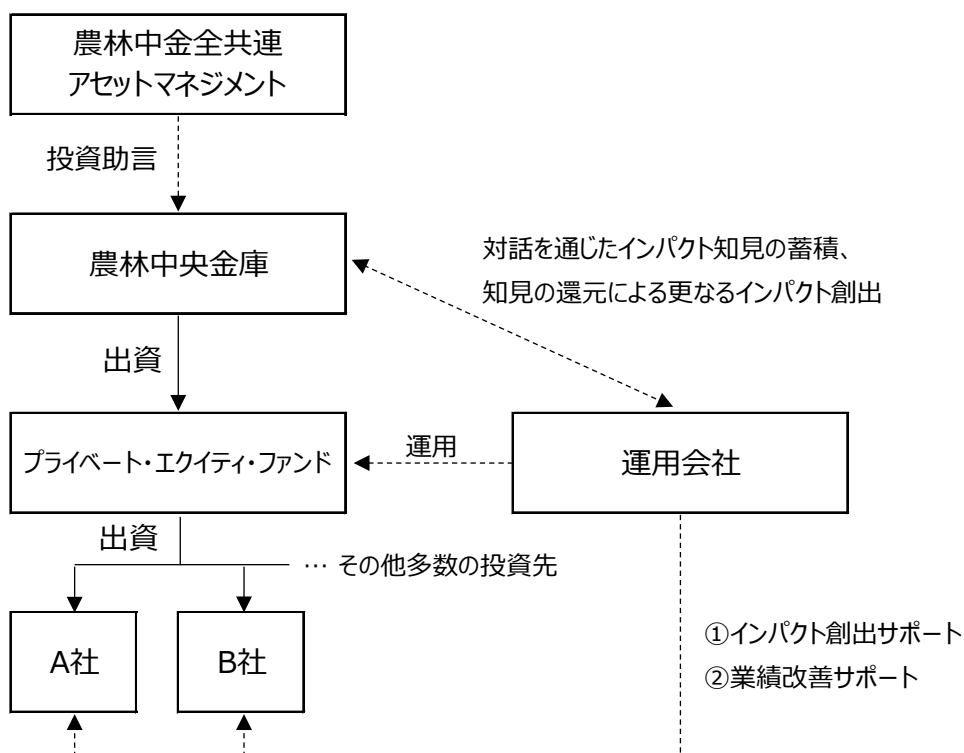
- (1) 投資先：Apollo Impact Mission Fund, L.P.
- (2) 運用会社：Apollo Global Management, Inc
- (3) インパクト創出を目指す領域：弊金庫としても重要な課題と位置付けている「気候変動対策」のほか、「経済機会の創出」「教育」「Industry 4.0」「健康/安全」をテーマに、幅広い SDGs への貢献を目指します。これまでに、欧州の再生段ボール原紙製造会社等への投資を行っております。

【農林中央金庫の役割イメージ】

凡例

- ▶ 出資関係
- ▶ 出資以外の関係

ストラクチャー図



【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部広報財務 IR 班（宮澤・水元）：TEL 03-6362-7172

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社 企画部：TEL 03-5210-8500

(※1) Apollo Global Management, Inc: 1990年に設立された、プライベート・エクイティ投資会社です。設立以来多数のファンドを組成し、世界各国で投資活動を行っており、プライベート・エクイティ業界を代表する会社の一つです。

(※2) 経済的なりターン、および環境・社会インパクトの創出を同時に目指すプライベート・エクイティ・ファンドの総称です。

(※3) 欧州連合の定める、金融商品の環境特性等の比較可能性を高める制度である、Sustainable Finance Disclosure Regulation。同制度において、9条に該当するファンドは、サステナブルな投資目的を持つ商品と定義されています。